

野菜の消費関連資料

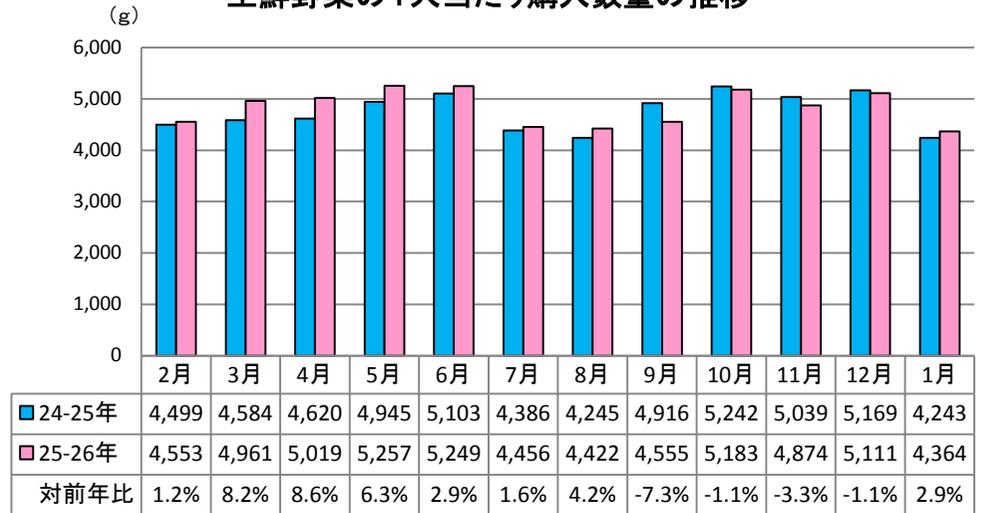
出 典 資 料

- | | | |
|-----|------------------|--------------------------------|
| 1 | 1人当たり購入数量の推移 | 総務省「家計調査報告（二人以上の世帯）」 |
| 2 | 1人当たり購入金額の推移 | 総務省「家計調査報告（二人以上の世帯）」 |
| 3 | 1人当たり年間購入数量等の推移 | 総務省「家計調査報告（二人以上の世帯）」、「消費者物価指数」 |
| 4 | 小売価格の推移 | 総務省「小売物価統計調査」 |
| 5 | 野菜の年齢階級別摂取量 | 厚生労働省「国民健康・栄養調査結果」 |
| 6 | 業務用需要の推移 | |
| (1) | 外食の家計支出の推移 | 総務省「家計調査報告」 |
| (2) | 外食店の売上高及び利用客数の推移 | 日本フードサービス協会「全店時系列データ」 |

1 1人当たり購入数量の推移

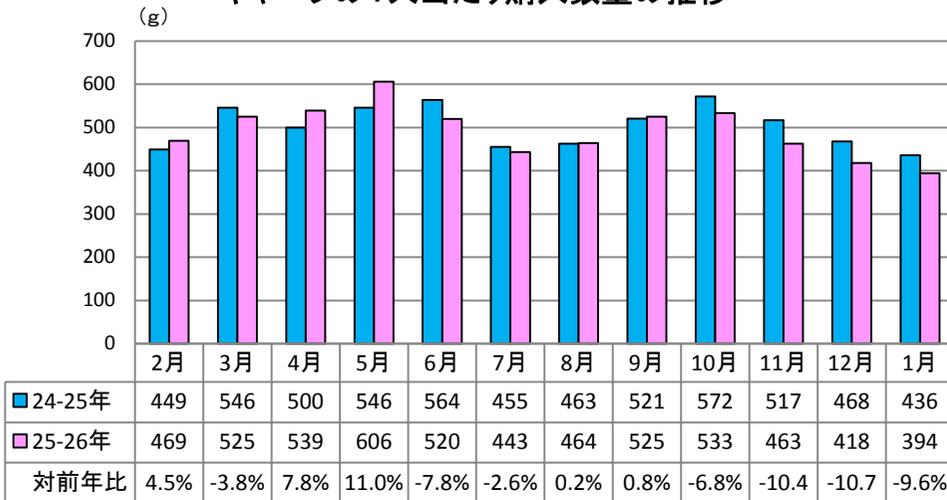
- ・ 生鮮野菜の購入数量は、2～6月は、2～5月にかけて好天に恵まれ、日照時間も平年に比べて多かったこともあり、順調な生育で価格が平年を下回ったこと、また、8月は前年が猛暑により加熱調理をする野菜の消費が減退したことから、前年を上回った。
- ・ 9～12月は、夏場の高温や秋口の台風の影響により高値となったことから前年を下回った。

生鮮野菜の1人当たり購入数量の推移



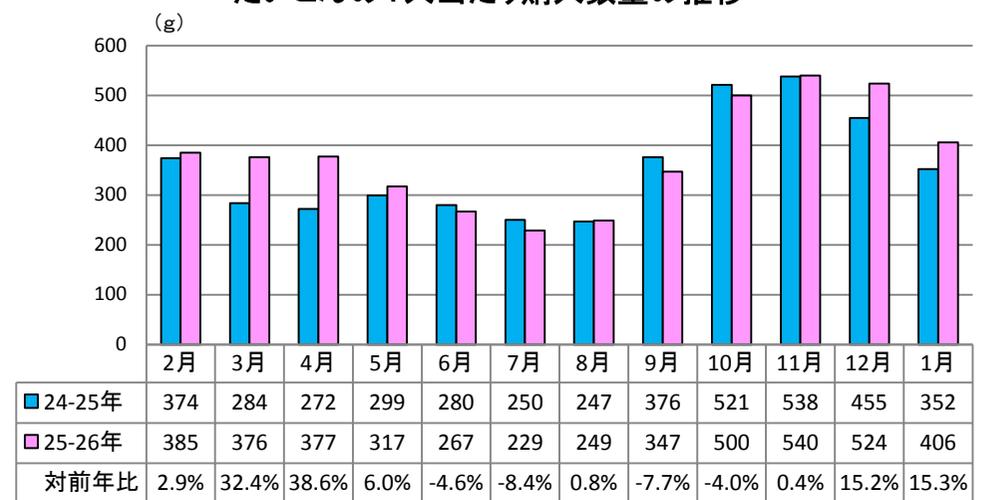
資料：総務省「家計調査報告」

キャベツの1人当たり購入数量の推移



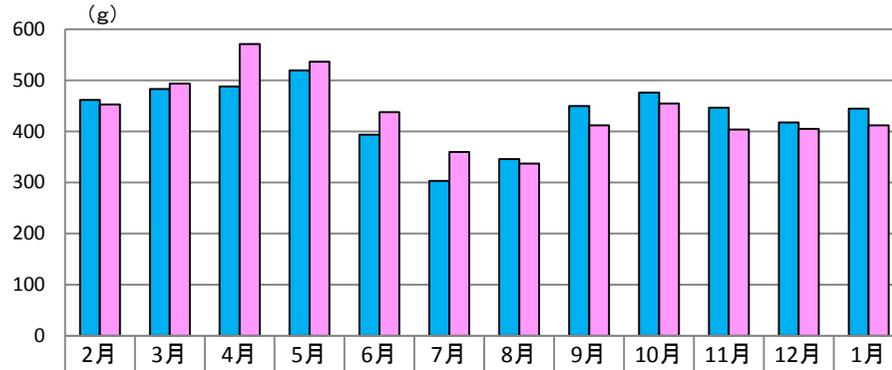
資料：総務省「家計調査報告」

だいこんの1人当たり購入数量の推移



資料：総務省「家計調査報告」

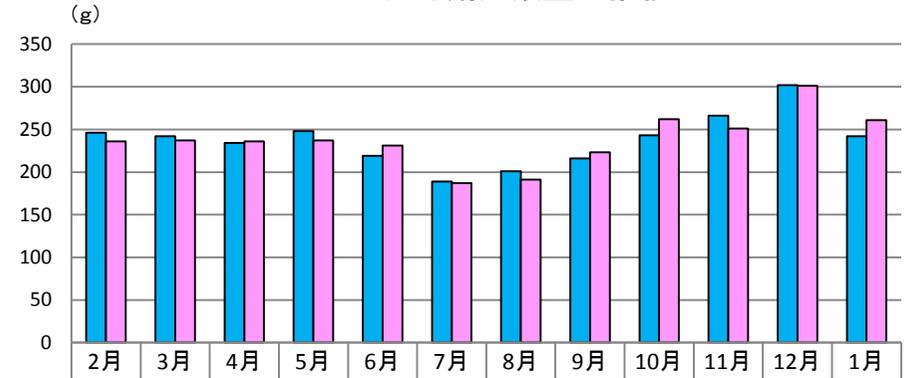
たまねぎの1人当たり購入数量の推移



	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
■ 24-25年	462	483	488	520	394	303	346	450	476	447	418	445
■ 25-26年	453	494	571	537	438	360	337	412	455	404	405	412
対前年比	-1.9%	2.3%	17.0%	3.3%	11.2%	18.8%	-2.6%	-8.4%	-4.4%	-9.6%	-3.1%	-7.4%

資料:総務省「家計調査報告」

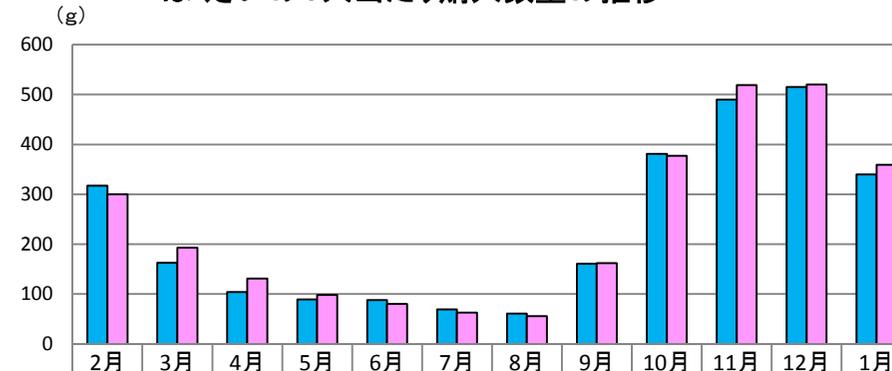
にんじんの1人当たり購入数量の推移



	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
■ 24-25年	246	242	234	248	219	189	201	216	243	266	302	242
■ 25-26年	236	237	236	237	231	187	191	223	262	251	301	261
対前年比	-4.1%	-2.1%	0.9%	-4.4%	5.5%	-1.1%	-5.0%	3.2%	7.8%	-5.6%	-0.3%	7.9%

資料:総務省「家計調査報

はくさいの1人当たり購入数量の推移



	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
■ 24-25年	317	163	104	89	88	69	61	161	381	490	515	340
■ 25-26年	300	193	131	98	80	63	56	162	377	519	520	359
対前年比	-5.4%	18.4%	26.0%	10.1%	-9.1%	-8.7%	-8.2%	0.6%	-1.0%	5.9%	1.0%	5.6%

資料:総務省「家計調査報

レタスの1人当たり購入数量の推移



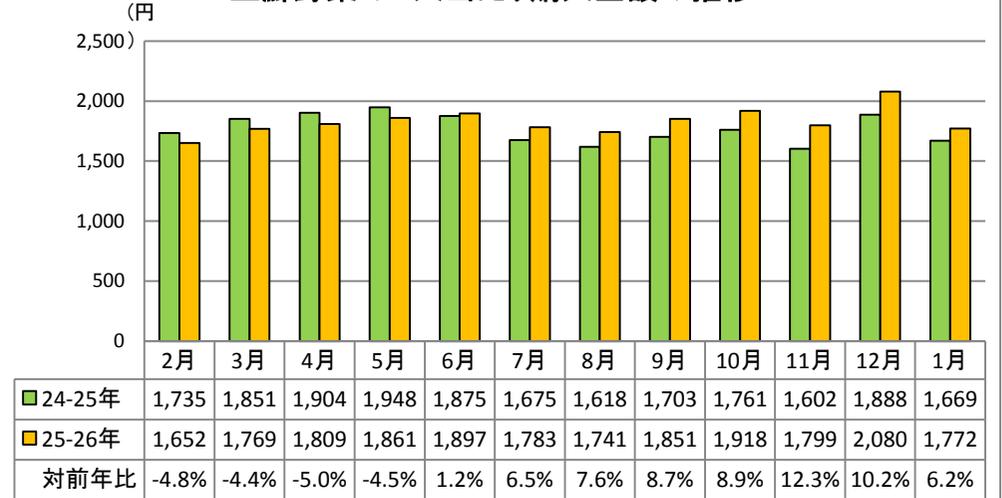
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
■ 24-25年	92	115	165	197	211	228	200	211	180	140	101	75
■ 25-26年	101	191	183	219	250	215	211	182	177	119	116	103
対前年比	9.8%	66.1%	10.9%	11.2%	18.5%	-5.7%	5.5%	-13.7	-1.7%	-15.0	14.9%	37.3%

資料:総務省「家計調査報

2 1人当たり購入金額の推移

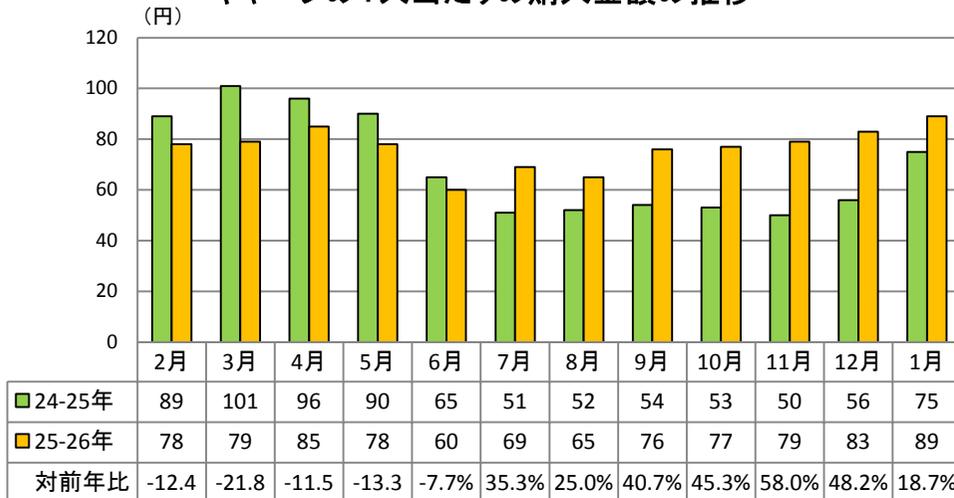
- ・ 生鮮野菜の購入金額は、5月までは好天により生育も順調で、6月上旬までは価格も総体的に平年を下回ったことから、前年を下回った。
- ・ 6月は、安かった前年の価格を上回り、7～12月は、5月上旬から6月上旬にかけての少雨、6月下旬の曇雨天、夏場の高温、秋口の台風等の影響から価格が平年をかなり上回る高値となった。1月は、上旬が購入数量の多いキャベツが低温の影響で、たまねぎが北海道産の不作でそれぞれ価格が高かったことから、前年を上回った。

生鮮野菜の1人当たり購入金額の推移



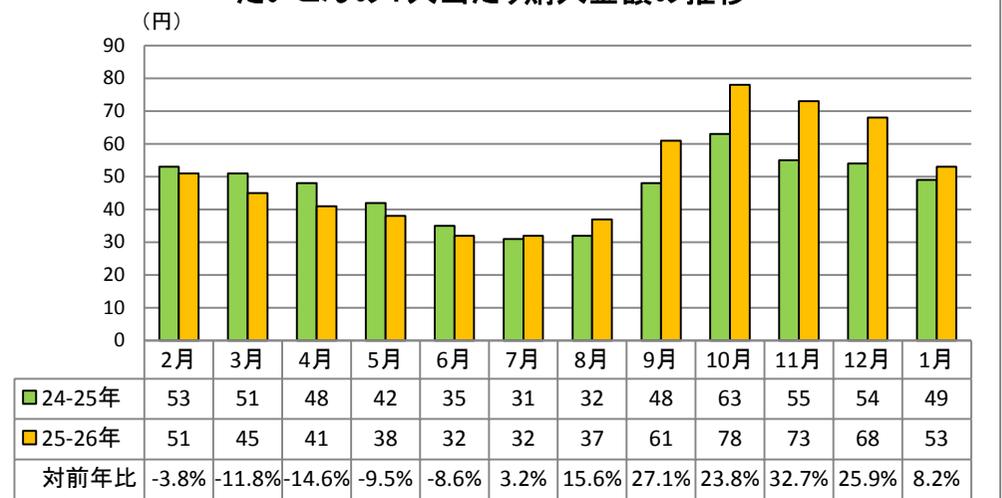
資料:総務省「家計調査報告」

キャベツの1人当たりの購入金額の推移



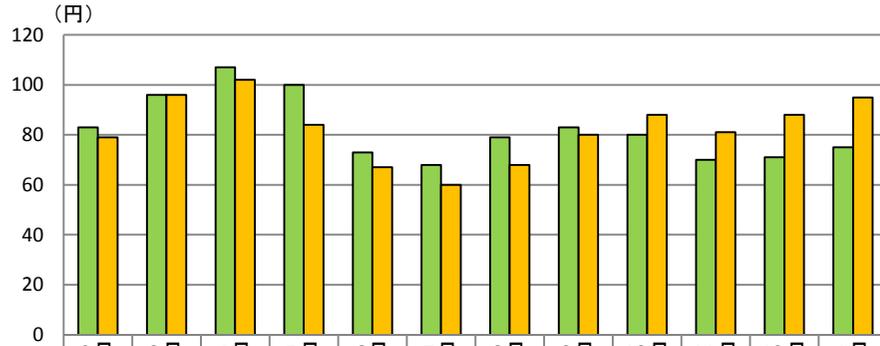
資料:総務省「家計調査報告」

だいこんの1人当たり購入金額の推移



資料:総務省「家計調査報告」

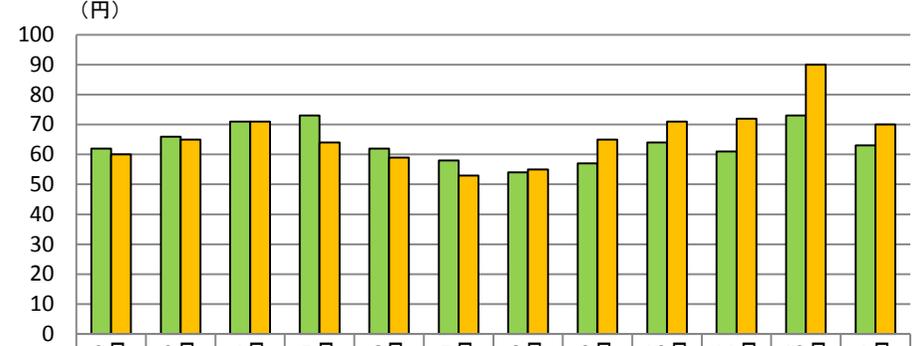
たまねぎの1人あたり購入金額の推移



	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
■ 24-25年	83	96	107	100	73	68	79	83	80	70	71	75
■ 25-26年	79	96	102	84	67	60	68	80	88	81	88	95
対前年比	-4.8%	0.0%	-4.7%	-16.0%	-8.2%	-11.8%	-13.9%	-3.6%	10.0%	15.7%	23.9%	26.7%

資料:総務省「家計調査報告」

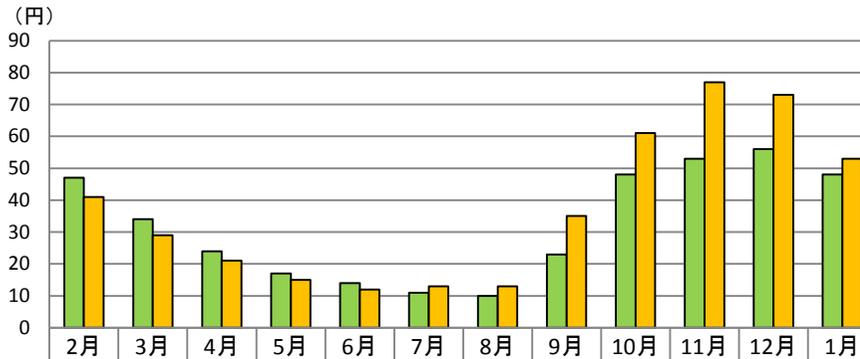
にんじんの1人あたり購入金額の推移



	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
■ 24-25年	62	66	71	73	62	58	54	57	64	61	73	63
■ 25-26年	60	65	71	64	59	53	55	65	71	72	90	70
対前年比	-3.2%	-1.5%	0.0%	-12.3%	-4.8%	-8.6%	1.9%	14.0%	10.9%	18.0%	23.3%	11.1%

資料:総務省「家計調査報告」

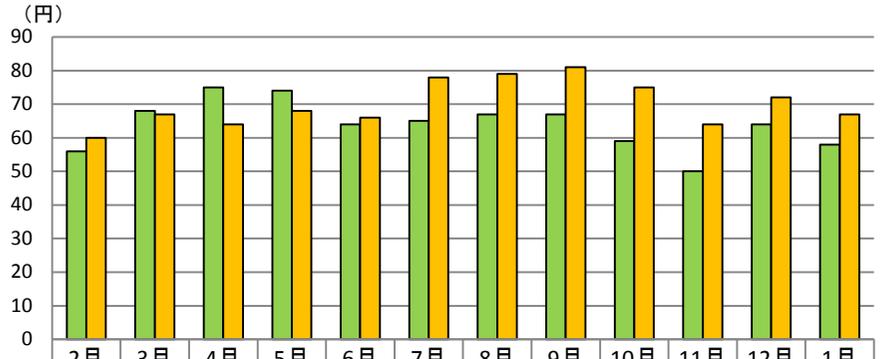
はくさいの1人あたり購入金額の推移



	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
■ 24-25年	47	34	24	17	14	11	10	23	48	53	56	48
■ 25-26年	41	29	21	15	12	13	13	35	61	77	73	53
対前年比	-12.8%	-14.7%	-12.5%	-11.8%	-14.3%	18.2%	30.0%	52.2%	27.1%	45.3%	30.4%	10.4%

資料:総務省「家計調査報告」

レタスの1人あたり購入金額の推移

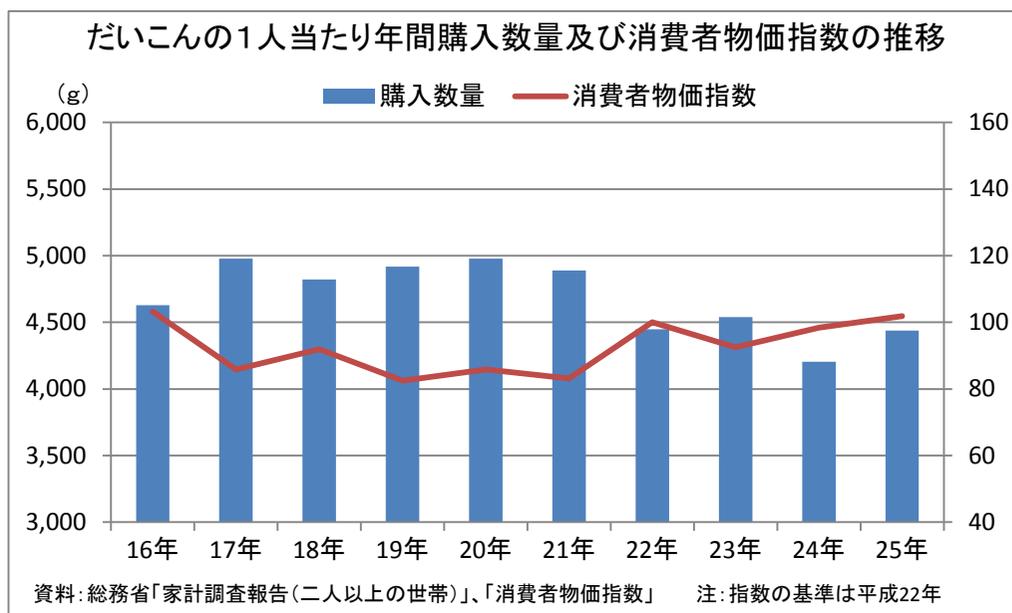
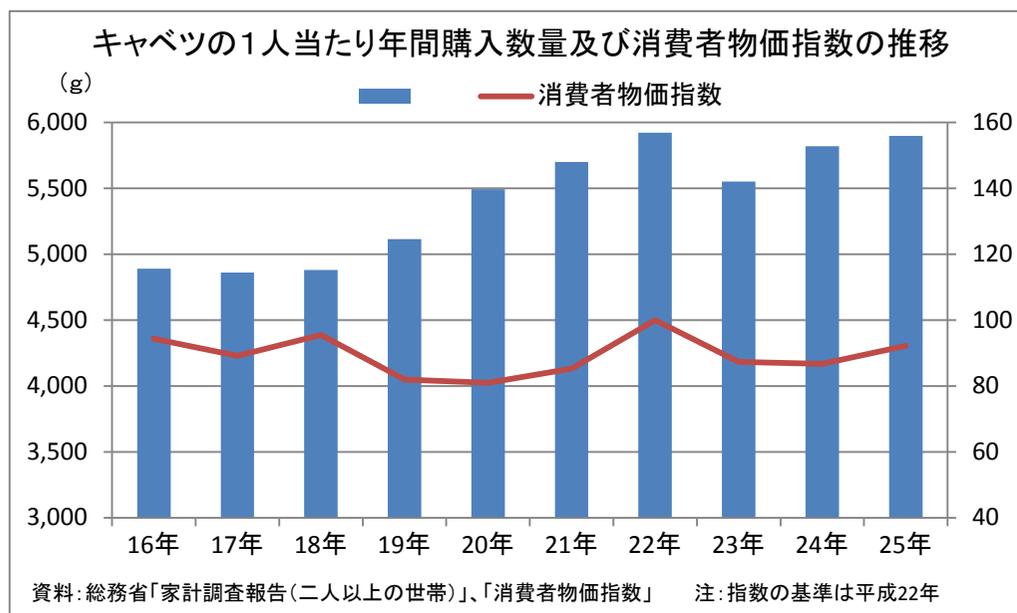
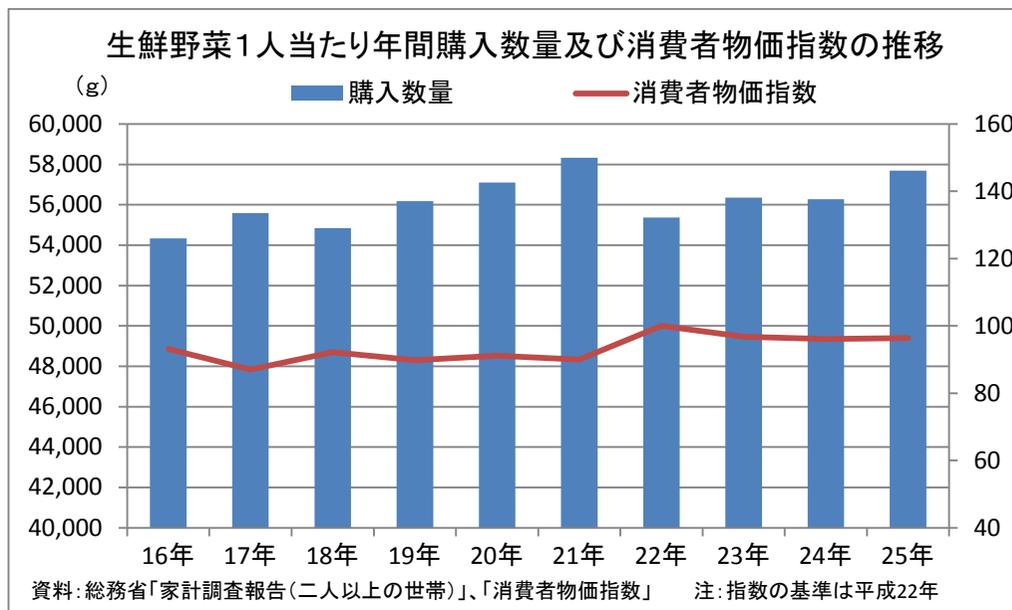


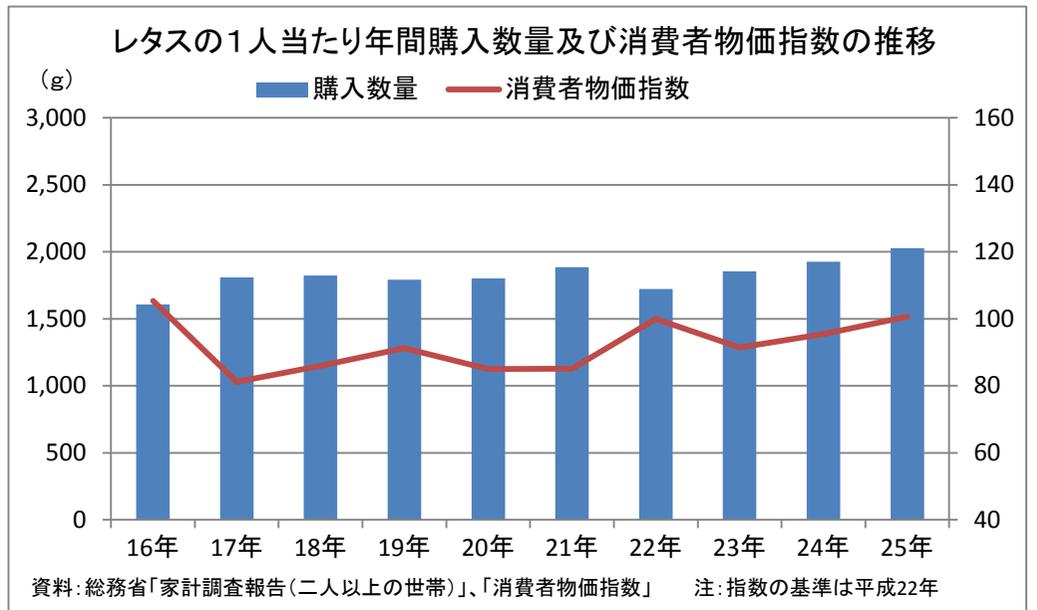
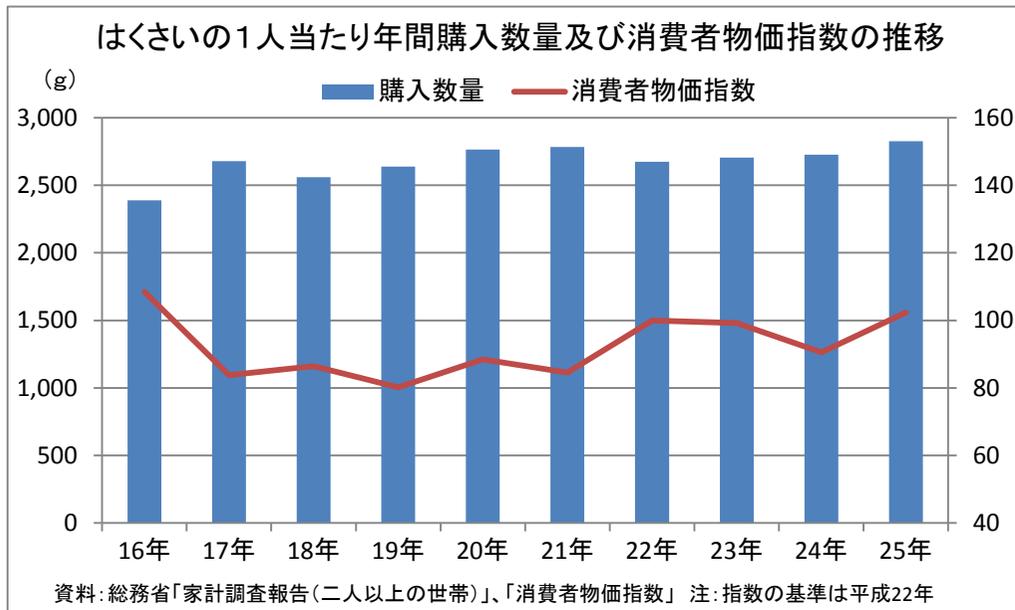
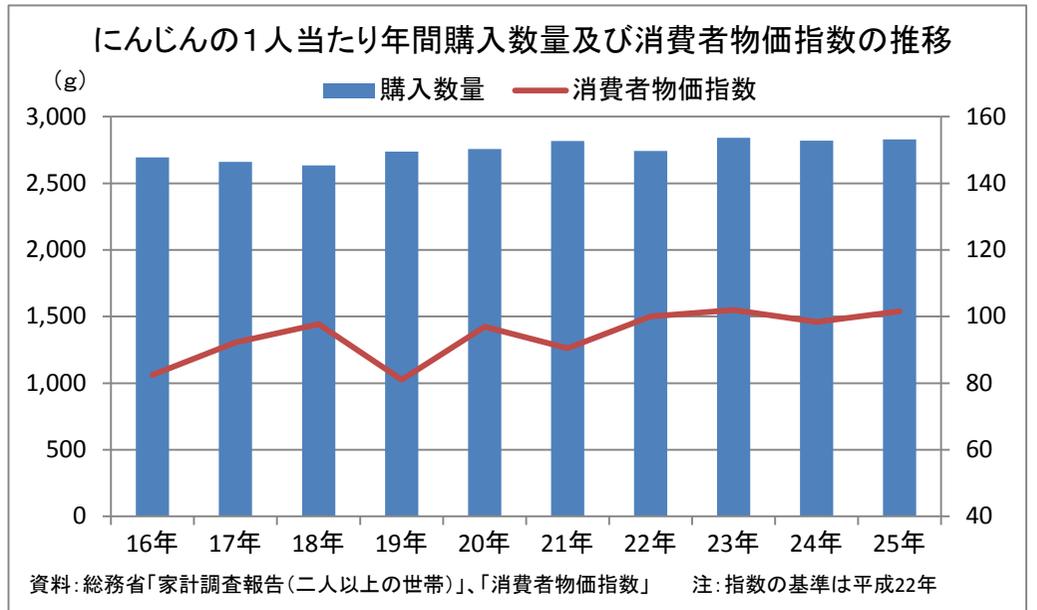
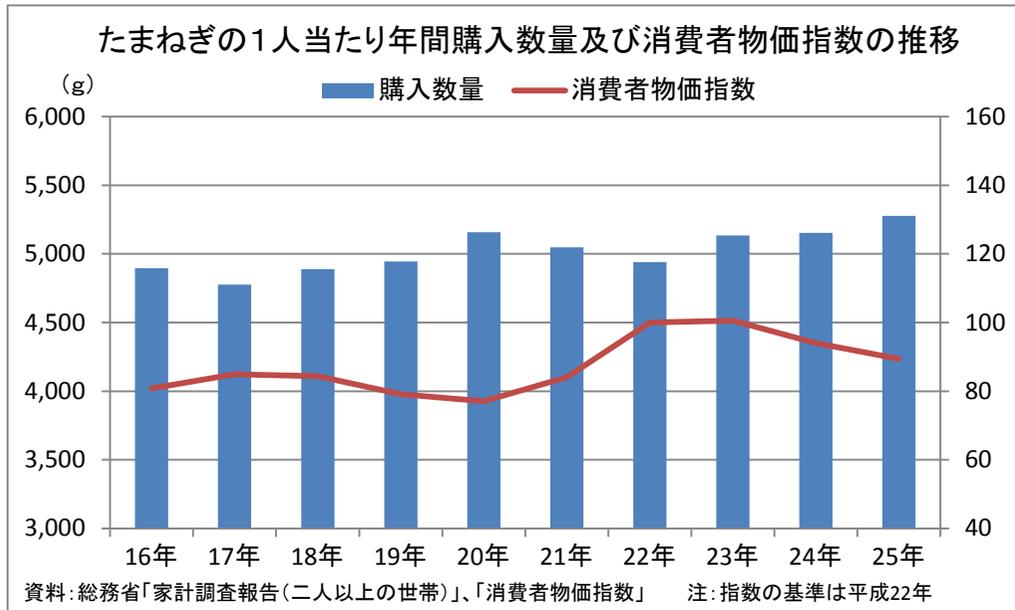
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
■ 24-25年	56	68	75	74	64	65	67	67	59	50	64	58
■ 25-26年	60	67	64	68	66	78	79	81	75	64	72	67
対前年比	7.1%	-1.5%	-14.7%	-8.1%	3.1%	20.0%	17.9%	20.9%	27.1%	28.0%	12.5%	15.5%

資料:総務省「家計調査報告」

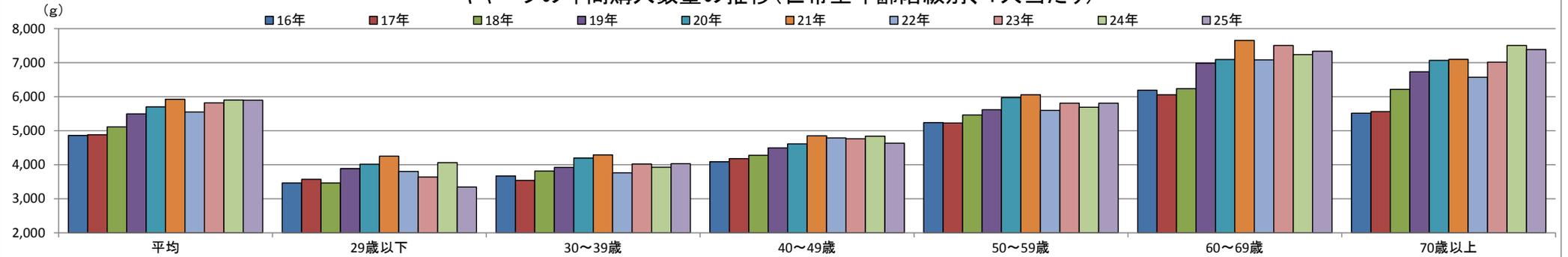
3 1人当たり年間購入数量等の推移

- ・ 生鮮野菜の1人当たり年間購入数量は年によって変動するものの、消費者物価指数（小売価格）が高くなると、購入数量が減少する傾向がみられる。
- ・ 品目別にみると、近年、キャベツ、たまねぎ、レタスは増加傾向、にんじんやはくさいは横ばい、だいこんは減少傾向となっている。
- ・ だいこんは年齢階級別でも全階級で減少傾向を示しており、49歳以下の各階級では、平均の半分以下となっている。



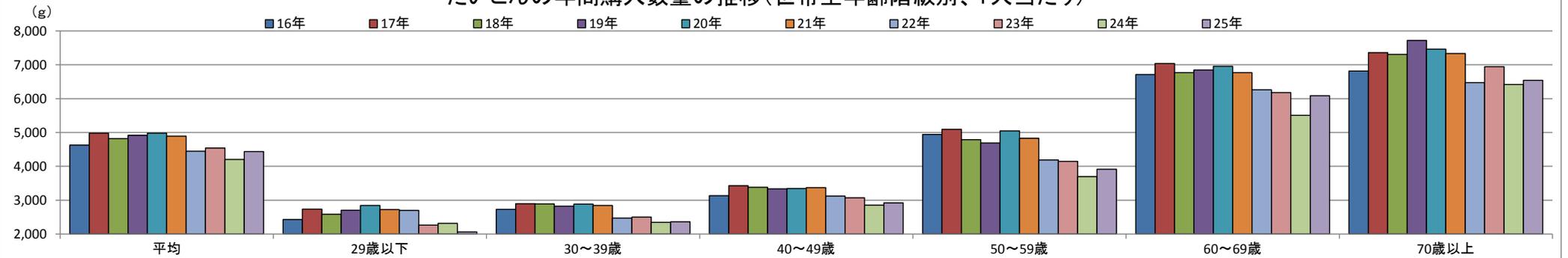


キャベツの年間購入数量の推移(世帯主年齢階級別、1人当たり)



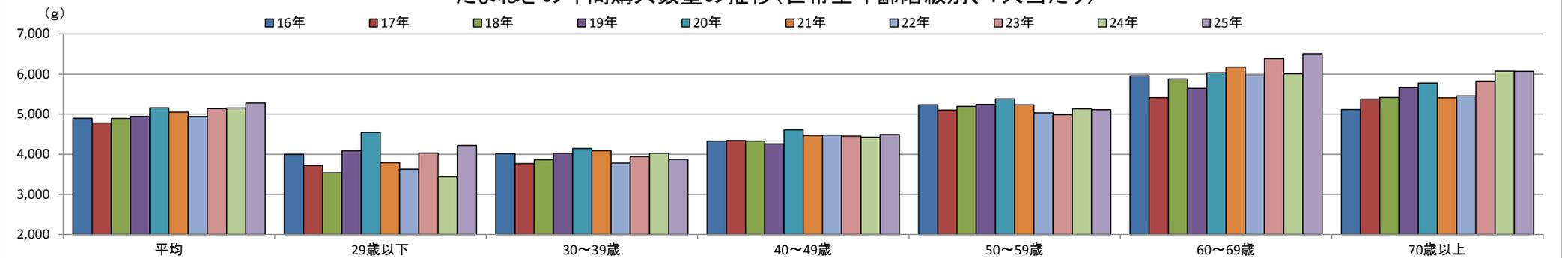
資料:総務省「家計調査報告」

だいこんの年間購入数量の推移(世帯主年齢階級別、1人当たり)



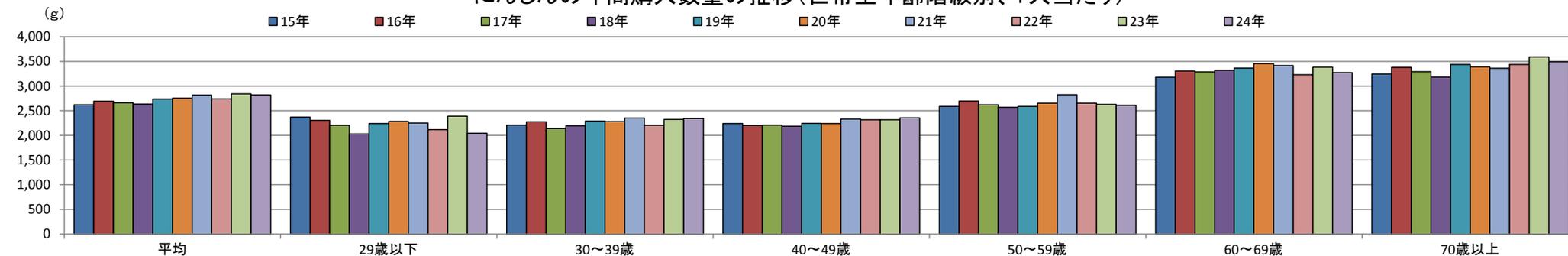
資料:総務省「家計調査報告」

たまねぎの年間購入数量の推移(世帯主年齢階級別、1人当たり)



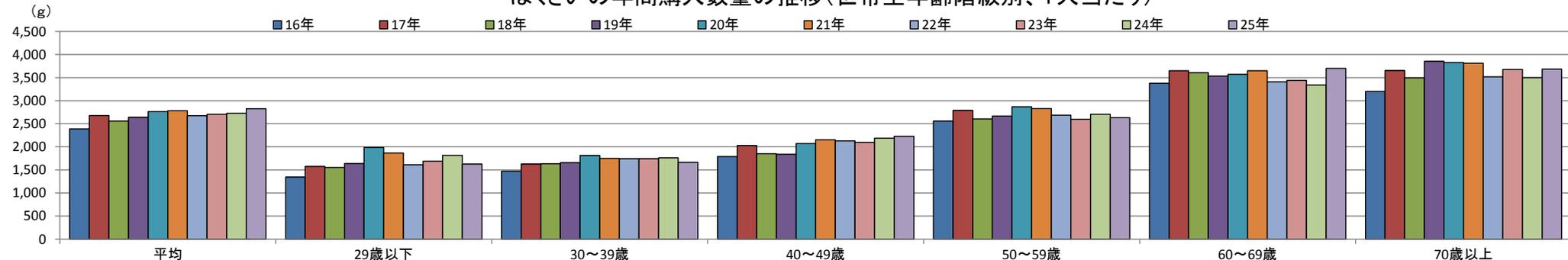
資料:総務省「家計調査報告」

にんじんの年間購入数量の推移(世帯主年齢階級別、1人当たり)



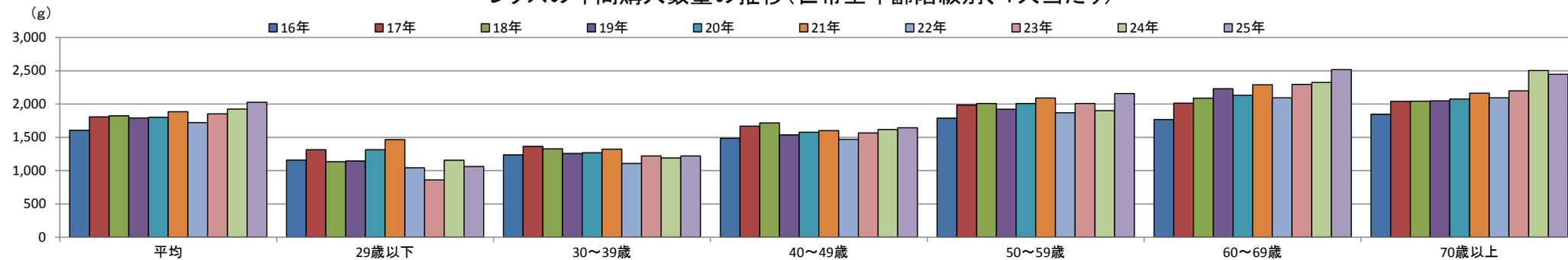
資料:総務省「家計調査報告」

はくさいの年間購入数量の推移(世帯主年齢階級別、1人当たり)



資料:総務省「家計調査報告」

レタスの年間購入数量の推移(世帯主年齢階級別、1人当たり)

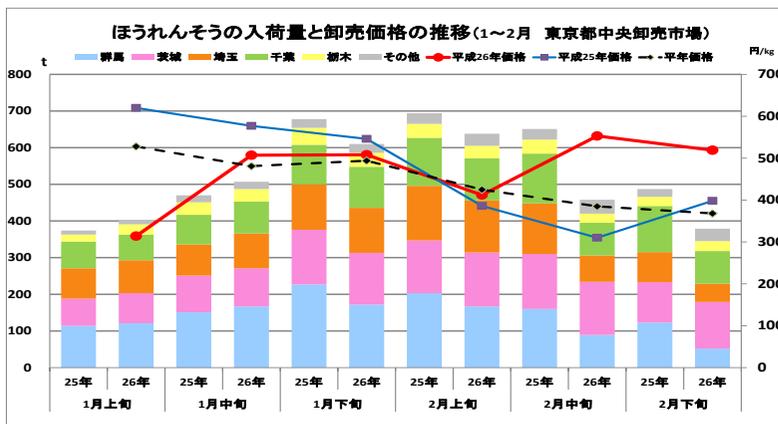
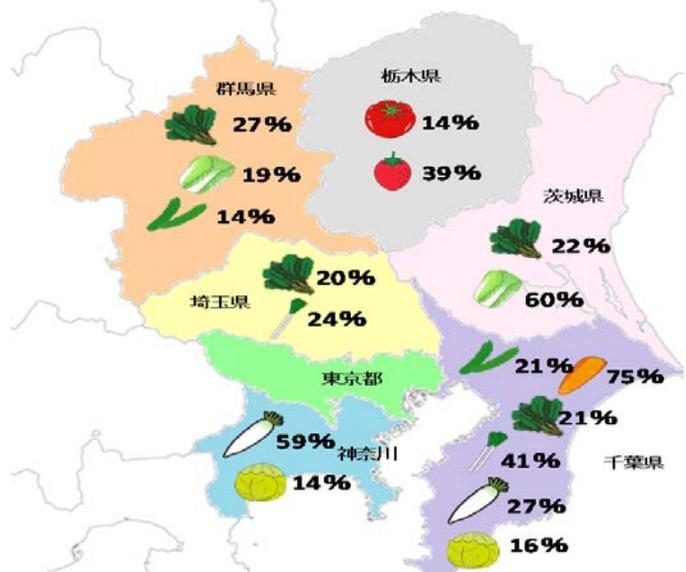


資料:総務省「家計調査報告」

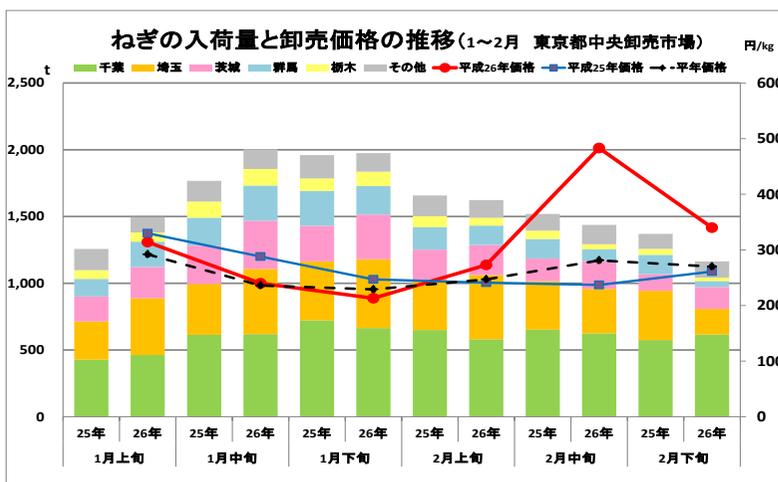
(参考) 野菜の需給・価格動向レポート (平成 26 年 3 月 3 日版) より

大雪の影響について

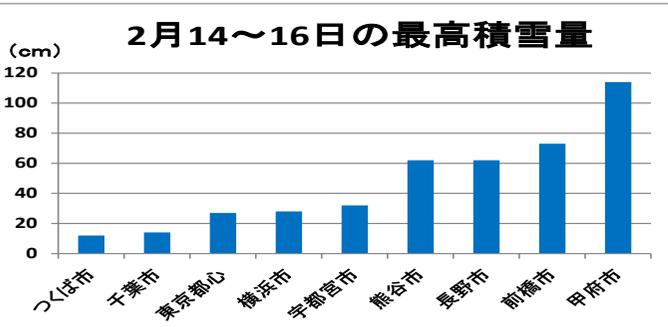
2月の首都圏への主な野菜のシェアと降雪量 (関東地域)



資料；青果物情報センター



資料；青果物情報センター



資料：ベジ探(原資料)東京都中央卸売市場月報、気象庁「気象統計情報」

関東甲信越地域は、全国の野菜の農業産出額の3割強を占め、施設園芸も盛んである。

2月14日から16日にかけての関東甲信地域を中心とする大雪では、記録的な積雪と雪の重み等から、農業用ハウス等の倒壊や野菜、果樹の損傷等かつてない農業被害が生じている。(参考：関東甲信各都県の農業被害暫定額約650億円(各都県集計、2/24日現在))

2月に首都圏に出荷される根菜類(だいこん、にんじん)、葉物類(ほうれんそう、ねぎ、キャベツ等)は、関東地域が主力産地であることから、これら品目を中心に、大雪、降雨等による損傷や収穫遅れ、物流の一時的停滞等から、出荷量が減少し、高値傾向となった。

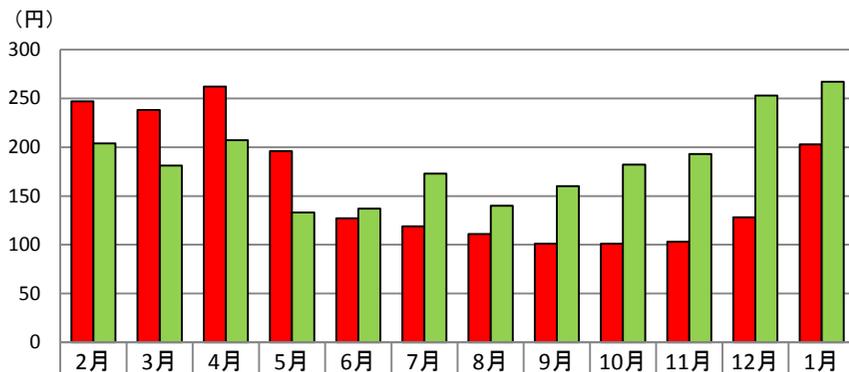
なかでも、ねぎやほうれんそうの主力産地である埼玉県、群馬県で記録的な積雪となったため、2月中旬以降の需給動向をみると、いずれの品目も出荷量の減少等により価格が大幅に上昇した。

現在、産地では復旧に向けた取組が着手され、出荷量が回復しつつあるだいこん、キャベツ等の品目もあるが、ハウス等の倒壊、今後の野菜苗の生産や農作業遅れ等の影響が懸念される品目もあり、春以降の被災産地等に係る品目別の需給動向を注視していく必要がある。

4 小売価格の推移

- キャベツ、はくさい及びレタスの葉茎菜類は、6月までは2月以降の好天の影響で生育が順調であったことから、低温の影響で高値であった前年を下回ったが、7月以降は、6月上旬までの少雨等による小玉傾向、夏場の高温による品質低下及び台風の影響等からかなりの高値となった。1月のレタスは、前年が低温の影響で小玉傾向となり平年を大幅に上回る高値であったこともあり、前年を下回った。
- だいこんは、キャベツ等と同様に、6月までは前年を下回った。特に4月は、前年が主産地の切り上がりが早く、後続の産地が低温等の影響で遅れて、出荷の谷間ができ平年を大幅に上回る価格となったことから、前年の半値程度となった。7月以降は、主力の北海道産が5月の曇天、低温、夏場の長雨の影響を受け、後続の関東産も台風や低温の影響から平年を上回る高値となったため、前年を大幅に上回った。
- にんじんは、6月までは生育の低温の影響で小振り傾向であったため、平年を上回る価格であったが、前年が高かったこともあり、前年並み若しくは前年をやや下回った。7月は千葉産の切り上がりが早く、後続産地が低温等の影響で遅れたことから価格が平年を大幅に上回ったため、前年を下回った。8月以降は、主力の北海道産が5月の曇天、低温、夏場の長雨の影響で、後続の関東産も台風や低温の影響から平年を上回る高値となったため、前年を大幅に上回った。
- たまねぎは、3月までは北海道産が順調であったことから、前年並み若しくは前年をやや下回った。4～8月は、前年が府県産の不作により平年を大幅に上回ったこともあり、前年を大幅に下回った。9月以降は、北海道産が生育期の少雨の影響で小玉傾向となったことから、年末にかけて徐々に価格は上昇し前年を上回った。

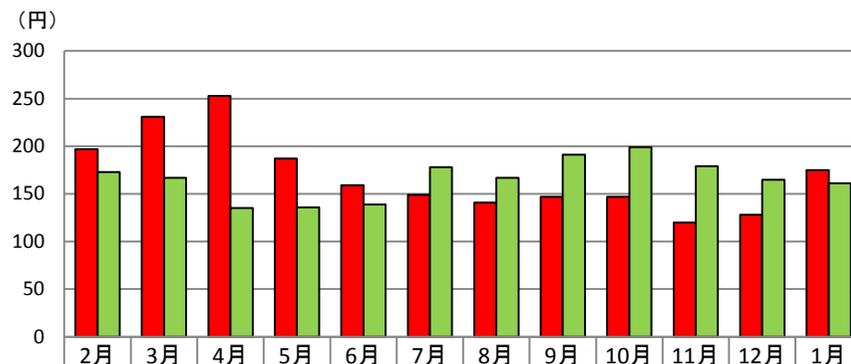
キャベツの小売価格の推移(1kg当たり、東京都区部)



対前年同月比	83%	76%	79%	68%	108%	145%	126%	158%	180%	187%	198%	132%
--------	-----	-----	-----	-----	------	------	------	------	------	------	------	------

資料:総務省「小売物価統計調査」

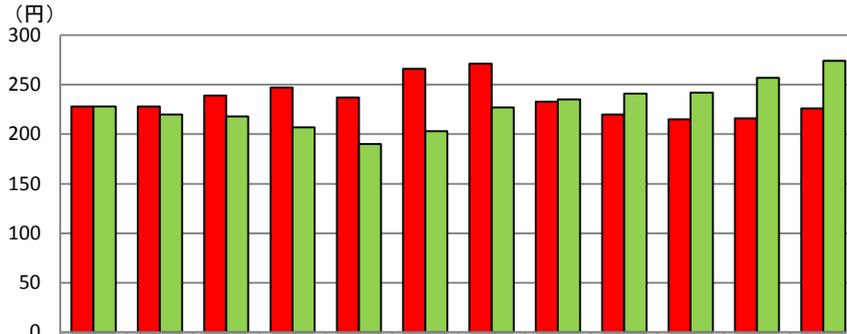
だいこんの小売価格の推移(1kg当たり、東京都区部)



対前年同月比	88%	72%	53%	73%	87%	119%	118%	130%	135%	149%	129%	92%
--------	-----	-----	-----	-----	-----	------	------	------	------	------	------	-----

資料:総務省「小売物価統計調査」

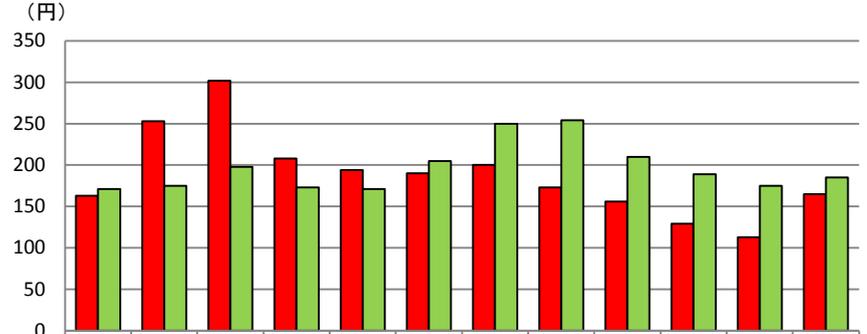
たまねぎの小売価格の推移(1kg当たり、東京都区部)



	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
■ 24-25年	228	228.0	239.0	247.0	237.0	266.0	271.0	233.0	220.0	215.0	216.0	226.0
■ 25-26年	228	220.0	218.0	207.0	190.0	203.0	227.0	235.0	241.0	242.0	257.0	274.0
対前年同月比	100%	96%	91%	84%	80%	76%	84%	101%	110%	113%	119%	121%

資料:総務省「小売物価統計調

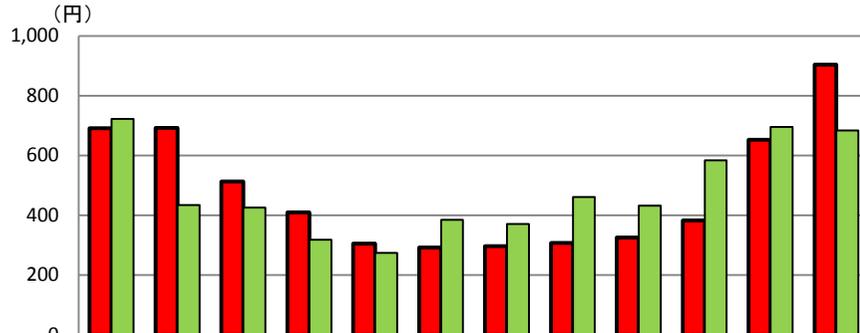
はくさいの小売価格の推移(1kg当たり、東京都区部)



	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
■ 24-25年	163	253.0	302.0	208.0	194.0	190.0	200.0	173.0	156.0	129.0	113.0	165.0
■ 25-26年	171	175.0	198.0	173.0	171.0	205.0	250.0	254.0	210.0	189.0	175.0	185.0
対前年同月比	105%	69%	66%	83%	88%	108%	125%	147%	135%	147%	155%	112%

資料:総務省「小売物価統計調

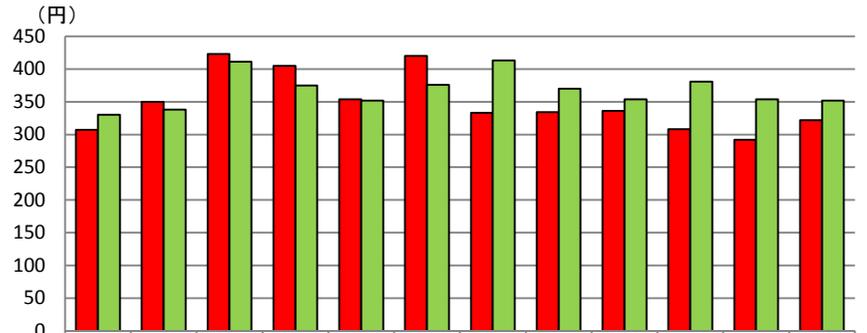
レタスの小売価格の推移(1kg当たり、東京都区部)



	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
■ 24-25年	691	692.0	513.0	409.0	305.0	292.0	296.0	307.0	325.0	382.0	652.0	904.0
■ 25-26年	722	434.0	426.0	318.0	274.0	385.0	371.0	461.0	432.0	584.0	696.0	684.0
対前年同月比	104%	63%	83%	78%	90%	132%	125%	150%	133%	153%	107%	76%

資料:総務省「小売物価統計調

にんじんの小売価格の推移(1kg当たり、東京都区部)

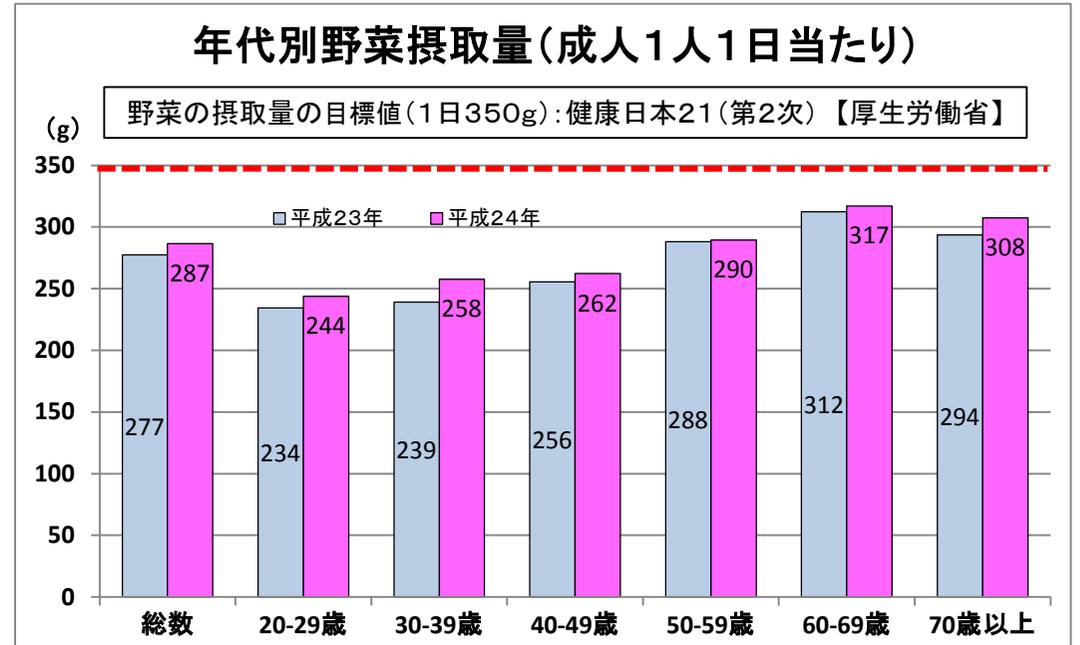


	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
■ 24-25年	307	350.0	423.0	405.0	354.0	420.0	333.0	334.0	336.0	308.0	292.0	322.0
■ 25-26年	330	338.0	411.0	375.0	352.0	376.0	413.0	370.0	354.0	381.0	354.0	352.0
対前年同月比	107%	97%	97%	93%	99%	90%	124%	111%	105%	124%	121%	109%

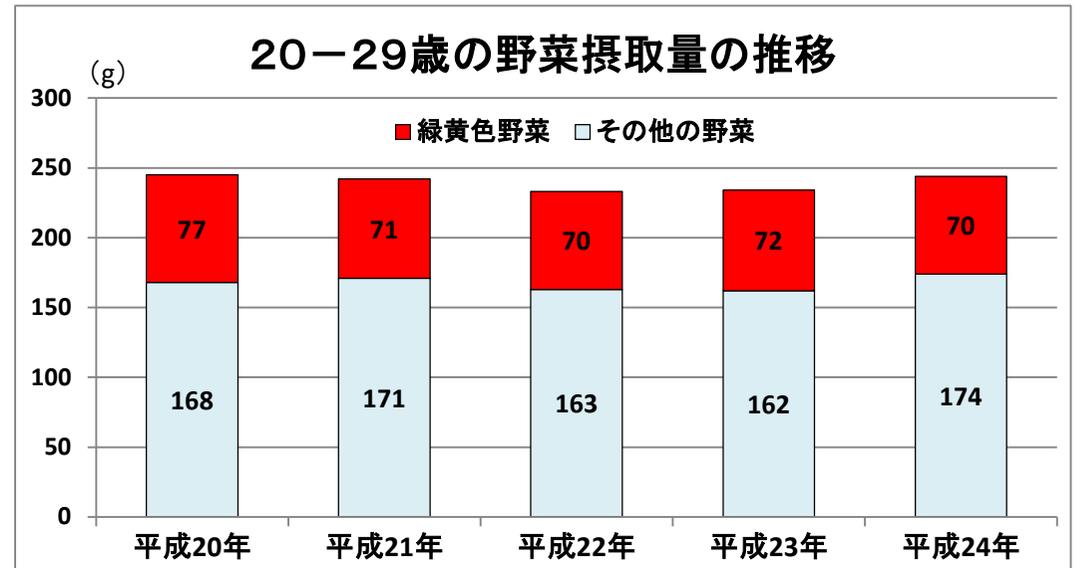
資料:総務省「小売物価統計調

5 野菜の年齢階級別摂取量

- 平成24年の成人1人1日当たりの野菜摂取量は、前年に比べて10グラム増加して287キログラム（前年比103%）となり、年齢階級別にみると、どの年代でも350グラムに達していない。また、依然として、20代、30代、40代が少ない水準となっている。



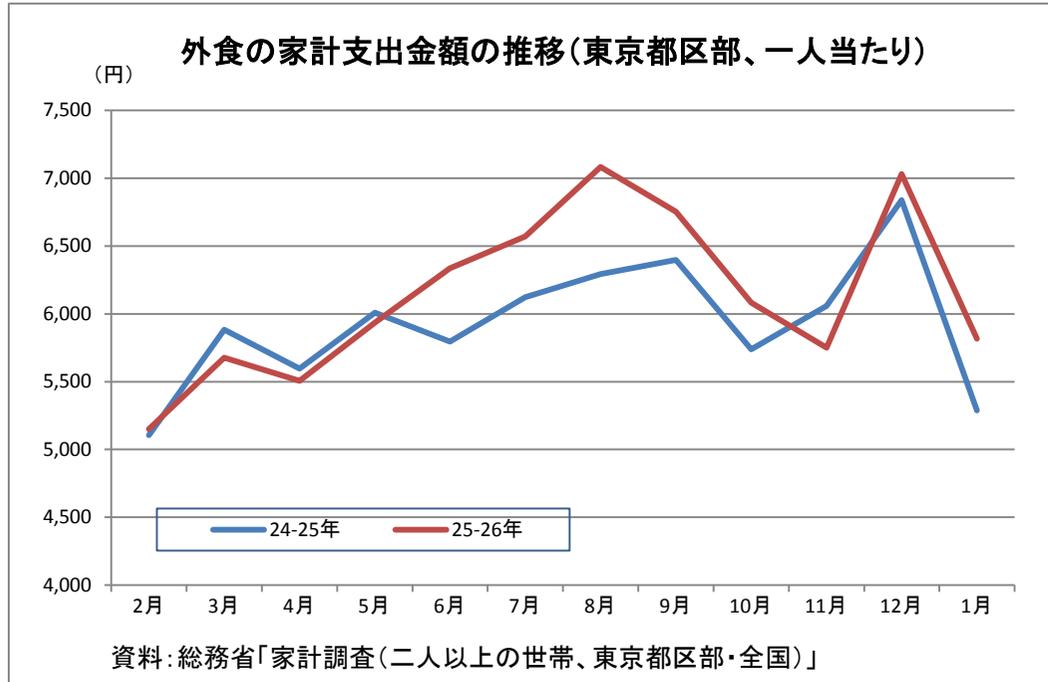
- 成人の中で摂取量が一番少ない20代の野菜摂取量は、年々減少傾向となっていたが、23年、24年と若干であるが増加してきた。



資料:厚生労働省「平成24年国民健康・栄養調査結果の概要」

6 業務用需要の推移

(1) 外食の家計支出の推移

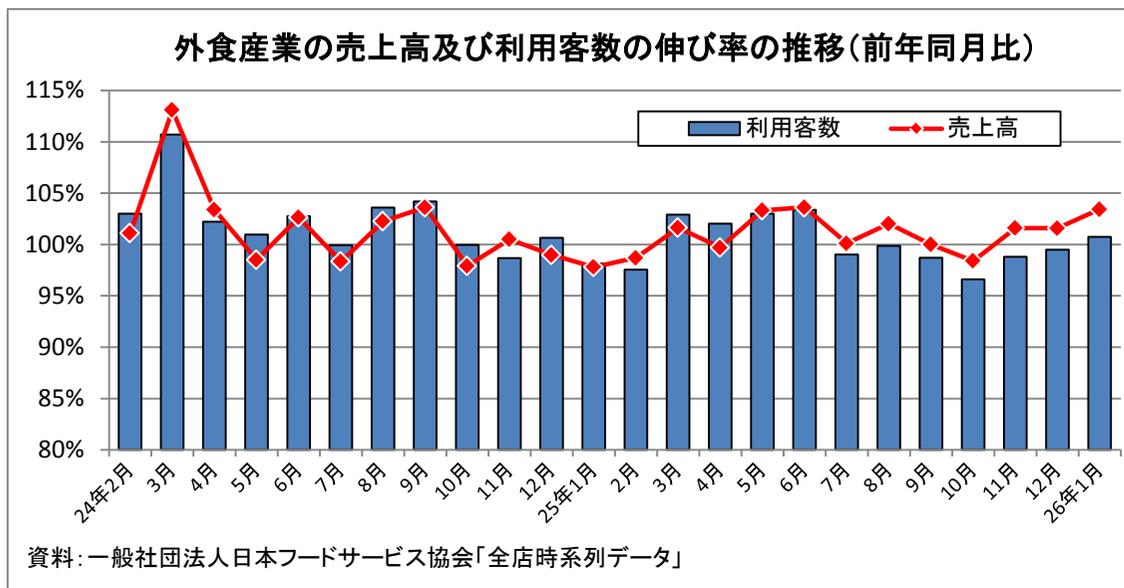


家計調査(東京都区部)

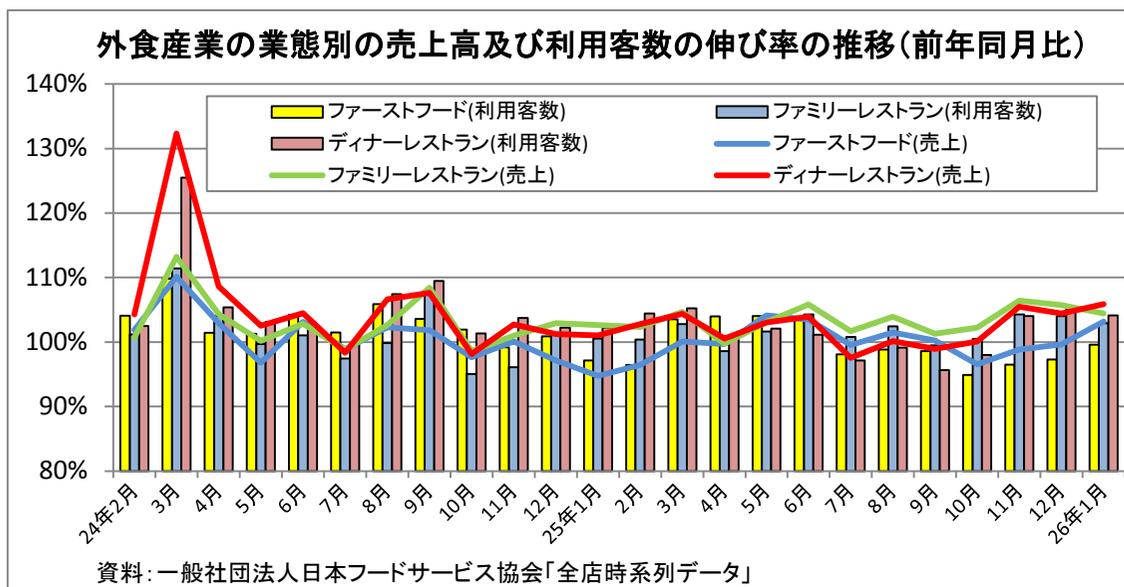
品目分類	25.1支出金額	26.1支出金額	対前年同月比
世帯人員 <①>	2.96	2.94	—
消費支出 <②>	305,930	314,485	103%
食料 <③>	73,436	75,143	102%
外食 <④>	15,649	17,104	109%
外食(1人当たり) <⑤=④/①>	5,287	5,818	110%
消費支出に占める割合(%) <⑥=④/②>	5.1	5.4	106%
食料に占める割合 <⑦=④/③>	21.3	22.8	107%

- 1月の1人当たりの外食に対する家計支出金額は、前年の1月が首都圏で大雪となった「成人の日」など、関東地域でも降雪の日が多かったこと、本年は晴れの日が多かったことから、対前年同月比110%となっている。

(2) 外食店の売上高及び利用客数の推移



- 外食店の売上高及び利用客数の、25年1月以降の動きをみると、売上高は、内閣府発表の消費者態度指数は24年の12月を底に上昇していること、景気の回復感等により客単価も上がっていること等から前年を上回る月が8ヶ月あった。
- 利用客数は、3～6月は天候が回復し、晴れの日が多かった等から前年を上回った。1～2月は寒い日が多く、首都圏でも予想外の大雪等天候が悪い日が多かったこと、7月以降は夏場の猛暑、豪雨、17、18号台風の上陸等不安定な天候の影響から前年を下回った。
- 平成26年1月は、全国的に晴れの地域が多かったこと等から売上高は対前年同月比103.4%と3ヶ月連続して前年を上回り、利用客数も100.7%と7ヶ月ぶりに前年を上回った。



- 業態別にみると、ファーストフードは、3～6月は好天にも恵まれ利用客数も伸び、それに伴い売上高も前年を上回った。その他の月は、利用客数は前年を下回るも、客単価が上がったことから、8～9月及び26年1月は前年を上回った。
- ファミリーレストランは、売上高、利用客数ともに概ね前年を上回った。4月は天候不順の日が多かったこともあり、売上高、利用客数とともに前年を下回った。9月は、台風等の影響もあり利用客数は前年を下回った。
- ディナーレストランは、売上高は、7月、8月で前年を下回るも、客単価の上昇もあり、利用客数が前年を下回る月(7月、9月)も前年を上回った。利用客数は、猛暑、台風、店舗数の減少で利用客数が減少した7～10月を除き前年を上回った。

7 今後の天気

(1) 向こう1ヶ月（3月1日～3月28日）

- ◆ 1週目後半から2週目にかけて、北日本から西日本にかけては、冬型の気圧配置が強まり、低温傾向となる見込み。
- ◆ 1週目後半から2週目にかけて、北・東日本では気温がかなり低くなる見込み。
- ◆ 北・東日本日本海側では、期間の前半に気圧の谷や冬型の気圧配置が現れるため、平年に比べ曇りや雪または雨の日が多い見込み。

(2) 3月～5月

【3月】

- ◆ 北日本では、冬型の気圧配置となる日が多く、北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多い見込み。
- ◆ 北日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多い見込み。
- ◆ 東・西日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多い見込み。

【4月】

- ◆ 北・東・西日本では、一時冬型の気圧配置となる時期がある見込み。
- ◆ 北・東日本太平洋側と西日本では、平年と同様に晴れの日が多い見込み。

【5月】

- ◆ 東日本日本海側と西日本では、平年と同様に晴れの日が多い見込み。

(3) エルニーニョ/ラニーニャ現象

- ◆ エルニーニョが発生する可能性と平常の状態が持続する可能性は同程度。
- ◆ チベット高気圧や太平洋高気圧の北日本付近への張り出しが弱くなる見込み。
- ◆ フィリピン付近では対流活動（積乱雲の発生）が活発となる見込み。

出典：「全般1ヶ月予報解説資料」（平成26年2月28日気象庁地球環境・海洋部）

「全般3ヶ月予報（3～5月）解説資料」（平成26年2月28日気象庁地球環境・海洋部）

「全般暖候期予報解説資料」（平成26年2月28日気象庁地球環境・海洋部）

(参考)

◎ 1ヶ月（3月1日～3月28日）予報に見る確率

		平均気温（1週目）3/1～7	平均気温（2週目）3/8～14	平均気温（3～4週目）3/15～28
北日本		低 60% 並 30% 高 10% 低い の見込み	低 40% 並 40% 高 20% 平年並か低い の見込み	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並 の見込み
東日本		低 60% 並 30% 高 10% 低い の見込み	低 50% 並 40% 高 10% 低い の見込み	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並 の見込み
西日本		低 40% 並 40% 高 20% 平年並か低い 見込み	低 40% 並 40% 高 20% 平年並か低い 見込み	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並 の見込み
沖縄・奄美		低 30% 並 50% 高 20% 平年並 の見込み	低 40% 並 40% 高 20% 平年並か低い 見込み	低 30% 並 40% 高 30% ほぼ平年並 の見込み
		平均気温（1か月）	降水量（1か月）	日照時間（1か月）
北日本	日本海側	低 40% 並 40% 高 20% 平年並か低い の見込み	少 20% 並 40% 多 40% 平年並か多い の見込み	少 40% 並 40% 多 20% 平年並か少ない の見込み
	太平洋側	低 40% 並 40% 高 20% 平年並か低い の見込み	少 20% 並 40% 多 40% 平年並か多い の見込み	少 30% 並 40% 多 30% ほぼ平年並 の見込み
東日本	日本海側	低 50% 並 30% 高 20% 低い の見込み	少 20% 並 40% 多 40% 平年並か多い の見込み	少 40% 並 40% 多 20% 平年並か少ない の見込み
	太平洋側	低 50% 並 30% 高 20% 低い の見込み	少 20% 並 40% 多 40% 平年並か多い の見込み	少 30% 並 40% 多 30% ほぼ平年並 の見込み
西日本	日本海側	低 40% 並 40% 高 20% 平年並か低い の見込み	少 30% 並 40% 多 30% ほぼ平年並 の見込み	少 40% 並 40% 多 20% 平年並か少ない の見込み
	太平洋側	低 40% 並 40% 高 20% 平年並か低い の見込み	少 20% 並 40% 多 40% 平年並か多い の見込み	少 40% 並 40% 多 20% 平年並か少ない の見込み
沖縄・奄美		低 40% 並 40% 高 20% 平年並か低い の見込み	少 40% 並 40% 多 20% 平年並か少ない の見込み	少 20% 並 40% 多 40% 平年並か多い の見込み

注：「低 並 高」、「少 並 多」は、それぞれ平年との比較（以下同じ。）

出典：「全般1ヶ月予報解説資料」（平成26年2月28日気象庁地球環境・海洋部）

◎3ヶ月（3月～5日）予報に見る確率

		平均気温 3月			平均気温 4月			平均気温 5月		
北日本	日本海側	低 40%	並 30%	高 30%	低 30%	並 40%	高 30%	低 30%	並 40%	高 30%
	太平洋側	低 40%	並 30%	高 30%	低 30%	並 40%	高 30%	低 30%	並 40%	高 30%
東日本	日本海側	低 30%	並 40%	高 30%	低 30%	並 40%	高 30%	低 30%	並 40%	高 30%
	太平洋側	低 30%	並 40%	高 30%	低 30%	並 40%	高 30%	低 30%	並 40%	高 30%
西日本	日本海側	低 40%	並 40%	高 20%	低 40%	並 40%	高 20%	低 30%	並 40%	高 30%
	太平洋側	低 40%	並 40%	高 20%	低 40%	並 40%	高 20%	低 30%	並 40%	高 30%
沖縄・奄美		平年並か低い 見込み			平年並か低い 見込み			ほぼ平年並 見込み		

		降水量 3月			降水量 4月			降水量 5月		
北日本	日本海側	少 30%	並 30%	多 40%	少 30%	並 40%	多 30%	少 30%	並 40%	多 30%
	太平洋側	少 30%	並 30%	多 40%	少 30%	並 40%	多 30%	少 30%	並 40%	多 30%
東日本	日本海側	少 30%	並 30%	多 40%	少 30%	並 40%	多 30%	少 30%	並 40%	多 30%
	太平洋側	少 30%	並 30%	多 40%	少 30%	並 40%	多 30%	少 30%	並 40%	多 30%
西日本	日本海側	少 30%	並 30%	多 40%	少 30%	並 40%	多 30%	少 30%	並 40%	多 30%
	太平洋側	少 30%	並 30%	多 40%	少 30%	並 40%	多 30%	少 30%	並 40%	多 30%
沖縄・奄美		少 40%	並 40%	多 20%	少 40%	並 40%	多 20%	少 40%	並 30%	多 30%

出典：「全般3ヶ月予報（3～5月）解説資料」（平成26年2月28日気象庁地球環境・海洋部）

◎暖候期予報（6月～8月）に見る確率

		気温（%）			降水量（%）			降雪量（%）		
		低	並	高	少	並	多	少	並	多
北日本	日本海側	40	40	20	20	40	40	30	30	40
	太平洋側	40	40	20	20	40	40	30	30	40
東日本	日本海側	30	40	30	30	40	30	30	40	30
	太平洋側	30	40	30	30	40	30	30	40	30
西日本	日本海側	20	40	40	40	40	20	40	30	30
	太平洋側	20	40	40	40	40	20	40	30	30
沖縄・奄美		20	40	40	30	40	30	30	40	30

出典：「全般暖候期予報解説資料」（平成26年2月28日気象庁地球環境・海洋部）